

お施主様向け取扱説明書

アルミニウム合金製 カーポート サイクルポート テラス屋根

《お願い》

商品を長く安全にお使いいただくために、
ご使用前によくお読みいただき、大切に保管ください。

施工業者の皆様へ

この取扱説明書は施工後、お施主様へ必ずお渡しください。

このたびは商品をお買い上げいただきありがとうございます。




本書は、商品の取り扱いに関する必要事項を説明しています。
商品を安全に長くお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください。

本書の読み方

本書内の表示

本書内では、下記の表示を用いて、人身事故や損害を未然に防ぐために守っていただきたい内容を示しています。内容を十分ご理解のうえ、表示内容を守って商品をご使用ください。

■危険／警告／注意／お願い



表示	意味
 危険	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（※1）を負うことがあり、かつその切迫の度合いが高いと想定される。
 警告	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（※1）を負うことが想定される。
 注意	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（※2）を負うかまたは物的損害（※3）が生じることが想定される。
お願い	製品の取り扱いを誤った場合、人身への危害と財産への損害には至らないが、製品自体の損傷や不具合が生じると思われる場合や、操作・使用・お手入れ方法などの注意喚起情報。

（※1）重傷とは、けが、やけど、感電、骨折、中毒などで、身体機能に欠損および／または後遺障害が生じる傷害、または前記に至らないまでも30日以上に加療を要する傷害をいう。

（※2）軽傷とは重傷に至らない傷害をいう。

（※3）物的損害とは、家屋・家財およびペット等にかかわる拡大損害をいう。製品自体の破損は含まない。物的損害の程度は、（財）日本科学技術連盟が開発したリスクマップ（R-Map）の「危害の程度」に準じる。

■記号

記号	意味
 [強制]	「必ず行っていただきたいこと」を示します。
 [禁止]	「行ってはいけないこと」を示します。

もくじ

本書の読み方	1
本書内の表示	1
もくじ	2
安全にお使いいただくために	3
安全上のご注意	3
調整・お手入れ時の注意事項	5
ご使用にあたって	7
知っていただきたい現象	8
使い方（カーポート・サイクルポート）	12
雪おろしの目安と制限荷重について	14
着脱式サポートの取り付け方	16
着脱式サポートの収納方法	19
収納式サポートの取り付け方	22
収納式サポートの収納方法	24
使い方（テラス屋根）	26
雪おろしの目安と制限荷重について	28
お手入れ時の注意事項	29
アルミ製商品／スチール製商品／樹脂製商品／ アクリル・ポリカーボネート板（屋根ふき材含む）	30
化粧シート貼り商品（ラミネート）	31
お手入れ	32
雨どい・ゴミ出しエルボの清掃方法	32
屋根ふき材の清掃方法	34
困った時には	35
屋根ふき材・雨どい	35
アルミ製商品の腐食	36
保守点検項目	37
商品の保証について	38

安全にお使いいただくために

商品を安全にご使用いただくために、必ず守っていただきたい事項です。
個々の商品の注意事項は、各商品の説明ページにも記載されていますので、併せてご確認ください。

安全上のご注意

⚠ 警告



[禁止]

各商品のラベルに記載された積雪量をこえた場合は、商品の下には入らないでください。雪の重みで商品が破損し、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[禁止]

商品の上に乗ったり、制限をこえる重量物を置いたり商品に無理な力をかけたりしないでください。転落など、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
※各商品の制限荷重は、各商品のページをご参照ください。

⚠ 注意

各商品のラベルに記載された積雪量をこえる前に雪をおろし、こえた場合は、商品に乗ったり、商品の下に入ったりしないでください。商品の倒壊など、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。雨やみぞれにより、雪の比重が大きくなりますので、下表の「雪おろしの目安」よりも早く雪おろししてください。

【雪おろしの目安】

ラベル表示 (積雪量)	新雪	しまり雪 (雪の重みで硬く しまった雪)	ざらめ雪 (氷つぶのように ざらざらした雪)
	雪比重：0.3 1cm 当たり 約 3.0kgf/m ²	雪比重：0.5 1cm 当たり 約 5.0kgf/m ²	雪比重：0.7 1cm 当たり 約 7.0kgf/m ²
20cm	20cm	12cm	8cm
25cm	25cm	15cm	10cm
30cm	30cm	18cm	13cm
50cm	50cm	30cm	21cm
60cm	60cm	36cm	25cm
100cm	100cm	60cm	42cm
150cm	150cm	90cm	64cm
200cm	200cm	120cm	85cm



[強制]

商品にラベルがない、ラベルの文字が見えない場合は、お取り扱いの建築会社、工務店、または当社にお問い合わせください。



[強制]

雪庇や巻き垂れができた場合は、早めに取り除いてください。
商品の破損や雪の落下により、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

⚠️ 注意



[禁止]

地震発生時の避難や待機場所として使用しないでください。
商品の破損により、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[禁止]

雪おろしの際、屋根にはしごをかけたり、乗ったり、物をのせないでください。
転落など、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[禁止]

雪おろしの際、屋根の下に入らないでください。製品の倒壊など、思わぬ事故やけが
につながるおそれがあります



[禁止]

屋根に積もった雪に水をかけないでください。
雪の比重が重くなり、製品の倒壊など、思わぬ事故やけがにつながるおそれ
があります。



[強制]

高所での作業を行う場合は、十分に安全を確保してください。
安全の確保が難しい場合は無理をせず、専門の業者にご依頼ください。
転落など、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[禁止]

指定されたボルトやネジ以外は絶対にゆるめないでください。
商品が破損するなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[強制]

商品をご使用中にガタつきなど異常を感じた場合は、すぐに使用を中止し、お取り
扱いの建築会社、工務店、または当社にお問い合わせください。
ご使用を続けた場合、商品が破損するなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれ
があります。

お願い

当社指定の付属品以外は取り付けしないでください。
商品の破損や故障の原因となります。

調整・お手入れ時の注意事項

⚠ 警告



[禁止]

はずしたネジは放置しないでください。
そのままネジを放置すると、小さなお子様ที่飲み込み、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

⚠ 注意



[強制]

積雪が予想される場合、雪が降る前に、以下の点検を行ってください。

- ・柱などにぐらつきがないか。
- ・金具やボルトのゆるみ、腐食がないか。
- ・屋根材に破損や、たれ下がりはないか。

上記の不具合を発見した場合は、お取り扱いの建築会社、工務店または当社にお問い合わせください。
不具合を放置してご使用を続けた場合、商品が破損するなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

お願い

不安定な台の上などで作業を行わないでください。

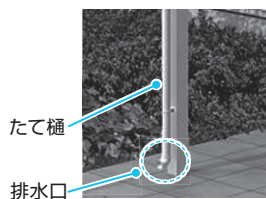
■テラス屋根についての注意事項

お願い

冬季、気温が低い時は、ゴミ出しエルボのキャップを取りはずしてください。
水が凍結して膨張し、樋部が破損するおそれがあります。
キャップは保管し、凍結のおそれが無くなってから、再度取り付けてください。



たて樋の排水口は雪でふさがないようにしてください。
樋部に溜まった水が凍結することで膨張し、たて樋が破損するおそれがあります。



ご使用にあたって

商品を長く正常な状態でご使用いただくために、日常生活の中で気をつけていただきたい事項です。

●商品の点検について

長期間、商品をご使用になると、ネジのゆるみが発生することがあります。

お手入れの際、商品のネジ部品がはずれたり、ゆるんだりしていないことを点検してください。

(→ P.37「保守点検項目」)

知っていただきたい現象

日常生活の中で『何かおかしいな…』と感じることがある現象も、商品の不具合ではなく、商品の特性に関連して発生する場合があります。

ここでは発生する可能性のある現象について、商品の特性を踏まえて説明しています。

寒冷地と雪の種類について

雪おろしの目安の積雪量以下であっても商品が破損する場合があります。

雪の重さは積雪量 1cm 当たり約 3.0kgf/m²で計算しますが、雪の状態により大きく変化します。

湿雪や降雨後の雪は、新雪時に比べ約 3 倍の重さになります。

また、寒冷地では低温や凍結によって機能低下や、操作が困難な場合があります。

低温や凍結の場合の無理な操作は故障の原因となりますので操作は控えてください。

積雪については下記資料を参考に雪の種類に従って早めに雪おろししてください。

【参考】

	新雪	しまり雪 (雪の重みで硬くしまった雪)	ざらめ雪 (氷つぶのようにざらざらした雪)
雪比重	0.3 1cm 当たり約 3.0kgf/m ²	0.5 1cm 当たり約 5.0kgf/m ²	0.7 1cm 当たり約 7.0kgf/m ²

結露について

夜間や早朝など外気温が下がり、外気によって冷やされた商品の温度が露点以下になり、そのまわりの空気が冷たい商品に触れると、空気中の水蒸気が凝縮して結露が発生します。

特に、夜間と日中の気温差が大きい時や、湿度が高い場所、風通しが悪い場所や空気の動きがない場所などでは発生しやすくなります。

エクステリア商品に発生する結露は、周囲環境や立地条件などによる自然現象なので、防ぐことはできません。

ステンレスのさびについて

ステンレスは表面に独自の保護皮膜が形成されます。この皮膜は空気中の酸素が触れている間は優れた耐食性を示す性質を持っていますが、表面が汚れると酸素との接触が妨げられ、さびが発生することがあります。

特に下記のような場合は、さびが発生しやすくなります。

- 塩素系の洗剤がステンレス部に付着した場合
- 海岸沿いなどの環境において塩分が付着した場合
- 他の物のさびがステンレス表面に付着した場合（もらいさび）など

さびが発生した場合は、台所用クレンザー、市販のステンレス用清掃薬剤などでこすり落としてください。この場合表面にこすりキズがつくことはさけられません。「もらいさび」が落ちない場合は、さびが進行しステンレス自身にさびが生じたものと考えられます。

さびを予防するポイント

- 一旦発生したさびは落とすことが難しいため、日頃から中性洗剤（1～2%の水溶液）で、こまめにお手入れをする。

ガス給湯器などの排気ガスによる腐食について

ガス給湯器などからの排気ガスが、アルミ部材の塗膜のはがれなどの表面異常の原因となることがあります。

ガス給湯器などの排気ガスの成分には、微量ながら硫黄分が含まれている場合があります、この硫黄分が空気中や排気ガスの水分と化学反応を起こして、亜硫酸、硫酸のような強い腐食性の酸を作ることがあります。

これらの酸が塗膜表面に付着すると、塗膜自体を劣化させ、塗膜の下のアルミに達し、アルミとの化学反応によって塗膜のはがれなどの表面異常を引き起こすことがあります。

また、ガス給湯器や車の排気ガスが直接あたらなくても、周辺の通気が悪く、排気ガスが滞留するような場所にアルミを使用した場合でも塗膜のはがれなどが起こるおそれがあります。

腐食を予防するポイント

- ガス給湯器および車の排気ガスが直接アルミにあたらないようにする。
- 排気口近辺にアルミ製品を設置する場合は、こまめにお手入れし、周辺の通気を確認したうえで使用する。

風について

風の強さ、吹き方は住宅の立地条件（山の高い場所に建っているなど）により異なります。

風速は10分間の平均風速、瞬間風速は3秒間の平均風速を指します。

風の吹き方は絶えず変動し、瞬間的な強い風などで商品が飛ばされる場合があります。完全に防ぐことはできませんがより安心してお使いいただくため、ネジのゆるみや破損箇所がないかなど、こまめに保守点検してください。

【参考】

平均風速		人への影響
10～15m/秒	やや強い風	風に向かって歩きにくくなる
20～30m/秒	非常に強い風	何かにつかまっていないと立っていられない
30m/秒以上	猛烈な風	屋外での行動は極めて危険

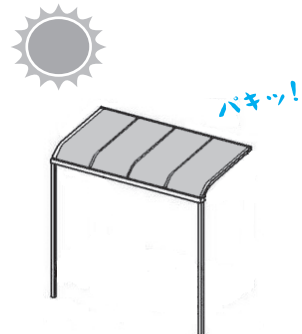
【気象庁ホームページ「風の強さと吹き方」より抜粋】

屋根ふき材の音鳴り現象について

エクステリア商品は、屋外に取り付けられています。

屋根ふき材は、特に太陽光を直接受けて、屋根ふき材が熱により膨れたりこすれたりして異音が発生することがまれにあります。これは、必ず起こる現象ではなく、気温、立地条件、季節、使用材料など複合的な要素により発生する不可抗力現象であり、商品の不具合によるものではありません。

また、熱による膨れや異音は、日が陰れば自然に治ります。



エクステリア商品の表面温度について

エクステリア商品は、屋外に取り付けられているため、長時間直射日光があたると、表面温度が非常に高くなることがあります。特に、ブラック・ブラウンなど色の濃い商品ほど表面温度が上昇します。直射日光が強い時間帯はやけどをするおそれがありますので、素手や素足で触れないようご注意ください。

樹脂パネルの熱変形について

屋根ふき材や側面パネルなどの樹脂パネルは、製品の特性上、真夏など気温が高くなると樹脂パネルが伸び、ひずみが発生することがあります。ひずみが発生しても、樹脂パネルの性能上は問題がありません。

日が陰ったり気温が低くなったりすることにより、ひずみは元に戻ります。

薬剤散布について

外装塗装や薬剤散布を行う場合は、その塗料や薬剤が屋根ふき材や本体に付着しないようにしてください。特に、屋根ふき材に付いた場合は、ひび割れなどの原因となります。もし塗料や薬剤が付いてしまった場合は、すみやかに洗い落としてください。

また、路面の雪や氷を溶かす際の融雪剤は、塩化カルシウムを主としており、車などに付くとさびの原因となりますが、アルミも例外でなく長時間そのままにしますと、腐食の原因となります。融雪剤をまかれるときは、商品本体に付かないように、散布をお願いします。また、もし融雪剤が付いてしまった場合は水などをかけて洗い流してください。

屋根部の結露について

結露とは、水蒸気を多く含んだ暖かい空気が、冷たいもの（屋根部）の表面に触れることで冷やされ、空気中に含みきれなくなった水蒸気が、水滴となって屋根材などに付着する現象です。（屋根下面にも起こり得ます）

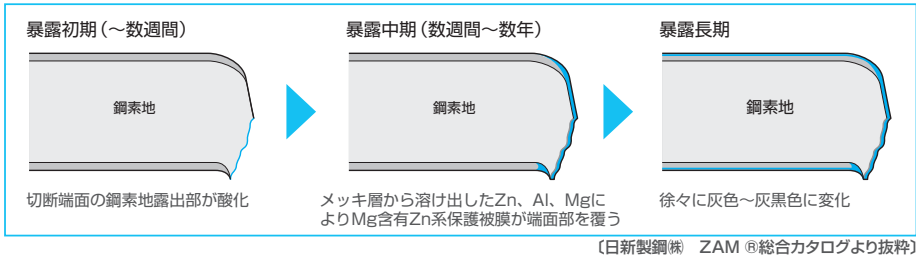
結露が発生しやすくなる原因

- 湿度が高い
- 表面温度が低い
- 風通しが悪い

屋根部材、屋根ふき材の結露は上の3つの原因が複合的に重なり発生することがありますが、自然現象、立地条件によって起きる不可抗力の現象であり、商品の不具合によるものではないことをご理解ください。

タイトフレームの小口さびについて

折板カーポートの折板屋根材の固定には、タイトフレームを使用しています。タイトフレームは高耐食性溶融亜鉛メッキ鋼板を切断して成形しています。切断面は鋼板の生地が露出していますが、メッキ層の自己防食作用により、時間の経過とともに保護皮膜を形成します。この保護皮膜が形成されるまでの間、結露等の環境にさらされた場合に切断小口面にさびが発生する場合があります。しかし、保護皮膜形成後はさびの進行が抑制されますのでタイトフレームの強度低下を招くおそれはありません。

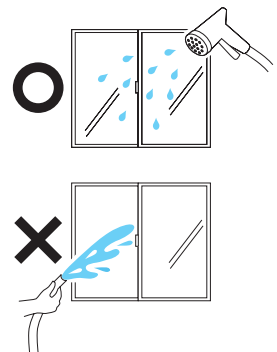


折板屋根よりの白い水

折板カーポートの折板屋根材には耐候性の高いガルバリウム鋼板を使用しています。ガルバリウム鋼板はアルミと亜鉛の合金をメッキした鋼板で、地肌の鉄に先立って亜鉛が溶け出す「犠牲防食作用」によって地肌の鉄を守り、長持ちさせます。この溶け出した亜鉛が折板裏面の結露に含まれると白い水として滴下することがあります。この白い水は、車の塗装や人体には無害です。乾いたら白い水跡として残りますが、水道水をかけるだけである程度は除去できます。さらにモップやスポンジなどで軽くこすり洗い流せば、きれいに除去することができます。

清掃時の散水による水浸入について

窓を閉めた状態で雨が室内側へ入らないよう、窓にはパッキンなどの気密部品が付いています。これは、強風を伴う降雨時を想定した所定の水密性能を確保するためのものですが、窓と枠すき間を完全に密閉するものではありません。清掃時に、ホースや高圧洗浄機などで強く水をかけたり、下から上方向に水をかけたりすると、室内側へ水が入る場合があります。これは、水の勢いが強かったり、上方向に水をかけたりしたことによるもので、窓の不具合ではありません。清掃時は、草花に水やりする程度の水流で、下方向にシャワー状の水がかかるように散水してください。



使い方（カーポート・サイクルポート）

ご使用前に確認してください

- 必ず、P.3「安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

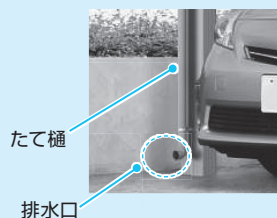
- お手入れ方法については P.32 を参照してください。

お願い

- 冬季、気温が低い時は、ゴミ出しエルボのキャップを取りはずしてください。
水が凍結して膨張し、樋部が破損するおそれがあります。
キャップは保管し、凍結のおそれなくなったら、再度取り付けてください。

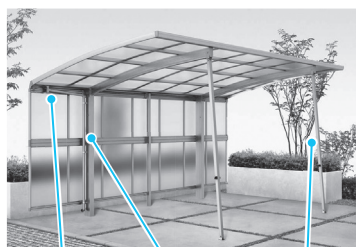


- たて樋の排水口は雪でふさがないようにしてください。
樋部に溜まった水が凍結して膨張し、たて樋が破損するおそれがあります。



■種類・各部の名称

●片側支持タイプ



ゴミ出しエルボ
キャップをはずすと
溜まったゴミを取り
出せます。



たて樋
雨水を排水
させます。

サポート
(オプション)
強風や積雪が
予想される時に
使用します。


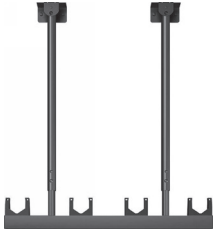
●両側支持タイプ



●屋根ふき材の種類

材質	種類
ポリカーボネート	ポリカーボネート板
	熱線遮断ポリカーボネート板
	ポリカーボネート折板
FRP	熱線遮断 FRP 板
スチール	スチール波板
	スチール折板
アルミニウム	アルミ板
アルミ樹脂複合板	アルミ樹脂複合板

●その他のオプション

<p>水平式物干し</p>  <p>→ P.28 「■物干しの種類と制限荷重」</p>	<p>吊り下げ式物干し</p>  <p>→ P.28 「■物干しの種類と制限荷重」</p>
--	---

雪おろしの目安と制限荷重について

■雪おろしの目安

下表は各商品のラベル表示に対する、雪おろしの目安です。商品のタイプによって耐荷重性能が異なりますので、下表と商品のラベル表示を確認し、雪おろしの目安として参考にしてください。

ラベル表示 (積雪量)	新雪	しまり雪 (雪の重みで硬くしまった雪)	ざらめ雪 (氷つぶのようにざらざらした雪)
	雪比重：0:3 1cm 当たり 約 3.0kgf/m ²	雪比重：0:5 1cm 当たり 約 5.0kgf/m ²	雪比重：0:7 1cm 当たり 約 7.0kgf/m ²
20cm	20cm	12cm	8cm
25cm	25cm	15cm	10cm
30cm	30cm	18cm	13cm
50cm	50cm	30cm	21cm
60cm	60cm	36cm	25cm
100cm	100cm	60cm	42cm
150cm	150cm	90cm	64cm
200cm	200cm	120cm	85cm

商品にラベルがない、ラベルの文字が見えない場合は、お取り扱いの建築会社、工務店、または当社にお問い合わせください。

サポートの種類（オプション）

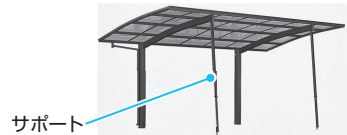
⚠️注意

- サポート付きのカーポートは、積雪や強風が予想される場合、サポートを設置して補強してください。
補強していないと、雪の重みや強風によって商品が破損するなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

サポートは、強風や積雪が予想される時に設置し、屋根を支える補助的な柱です。
サポートには下記の2種類があり、取り付け方や収納方法が異なります。

●着脱式サポート

柱に収納されたサポートを取りはずして屋根に取り付けて使用します。

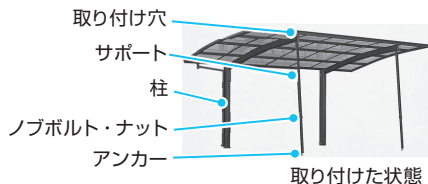


●収納式サポート

屋根に収納されたサポートの先端をはずして使用します。



着脱式サポートの取り付け方

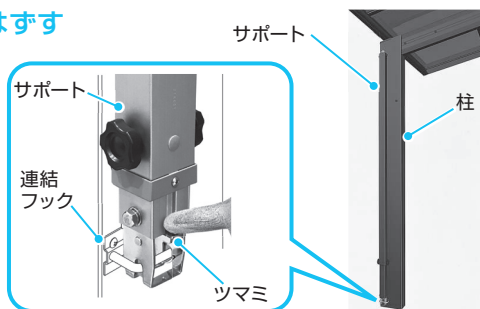


⚠️ 注意

- サポート着脱の際は、軍手などの保護具を着用してください。サポートの小口部分を素手で触ると、指を切るなど思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- ノブナットやノブボルトをはずす際や、サポート（下）を伸ばす際など、サポートを回転させないでください。サポートを回転させると、取り付け穴からサポートが脱落して倒れたり、足に落下したりするなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- アンカー部にゴミ（砂・落ち葉など）が詰まらないよう、取り付け時に取り除いてください。
- 取り付け後、サポートが確実に取り付けられていることを確認してください。

1 サポートを柱から取りはずす

サポートを持ち、ツマミを下げたまま持ち上げて、柱から取りはずします。



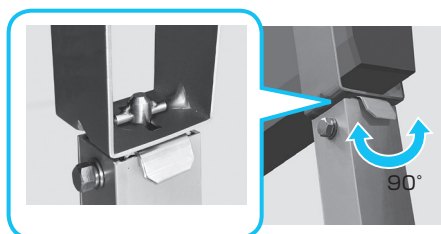
2 サポートを挿し込み、回転させて引っ掛ける

サポート先端の連結金具を、取り付け穴に挿し込み、90°回転させて引っ掛けます。

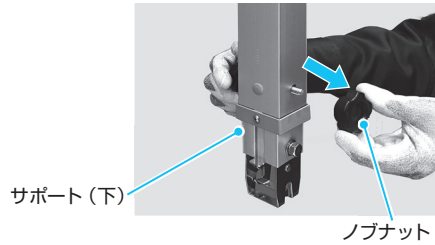
※ツマミがカーポートの柱側になるようにしてください。

⚠️ 注意

- サポートは確実に 90° 回して引っ掛けてください。サポートを 90° まわす際、回転不足があると、取り付け穴からサポートが脱落するなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

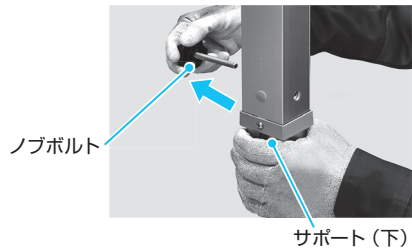


3 ノブナットをはすす



4 ノブボルトを抜く

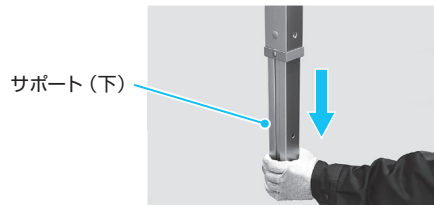
サポート（下）を手で支えながら、ノブボルトを抜きます。



⚠注意

- ノブボルトは、必ずサポート（下）を持ってはずしてください。サポート（下）を持っていないと、ノブボルトを抜くと同時にサポート（下）が一気に伸びて足に落下するなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

5 サポート（下）を伸ばす



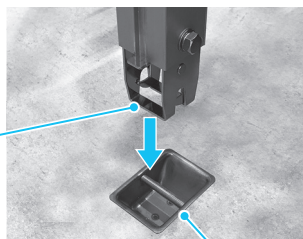
6 連結フックをアンカーに差し込む

連結フックをアンカーにカチッと音がするまで確実に差し込みます。

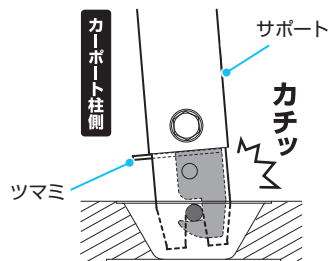
⚠注意

- 連結フックをアンカーに差し込む際、サポートを回転させないでください。サポートを回転させると、取り付け穴からサポートが脱落して、倒れたり足に落下したりするなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

連結フック



アンカー



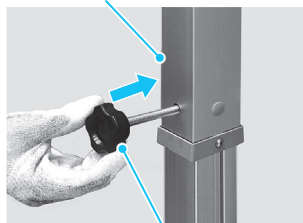
7 サポートがはずれないことを確認する

サポート（下）を持ち上げ、はずれないことを確認します。

8 ノブボルトをサポートに挿し込む

※ ノブボルトが穴に入りにくい場合は、サポート（上）を持ち上げながらはめてください。

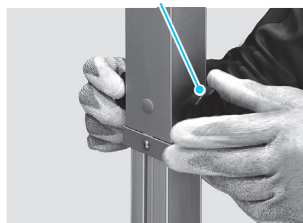
サポート（上）



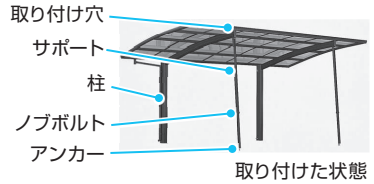
ノブボルト

9 ノブナットを取り付け、固定する

ノブナット



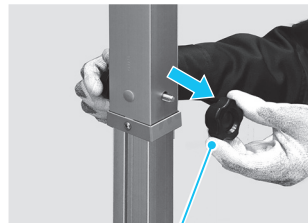
着脱式サポートの収納方法



⚠️ 注意

- サポート着脱の際は、軍手などの保護具を着用してください。サポートの小口部分を素手で触ると、指を切るなど思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- ノブナットやノブボルトをはずす際や、サポート（下）を縮める際など、サポートを回転させないでください。サポートを回転させると、取り付け穴からサポートが脱落して倒れたり、足に落下したりするなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 収納後、サポートが確実に取り付けられていることを確認してください。

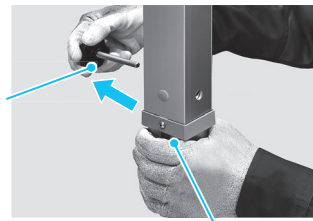
1 ノブナットをはずす



2 ノブボルトを抜く

サポートを手で支えながらノブボルトを抜きます。

※ノブボルトが穴から抜けにくい場合は、サポート（上）を持ち上げながらはずしてください。

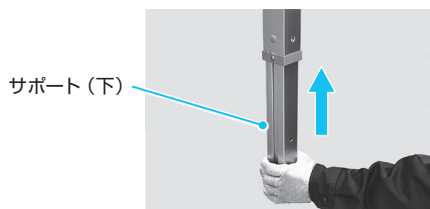


3 アンカーから連結フックをははずす

ツマミを下げて連結フックを解除し、サポート（下）を少し持ち上げてアンカーから連結フックをははずします。



4 サポート（下）を縮める

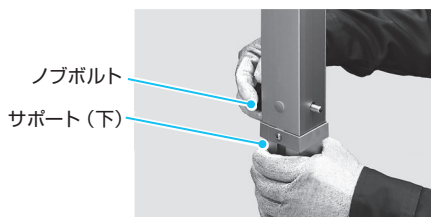


⚠️注意

- サポート（下）を縮める際、サポートを回転させないでください。サポートを回転させると、取り付け穴からサポート（上）が脱落してサポート（下）との間に指をはさむなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

5 ノブボルトを挿し込む

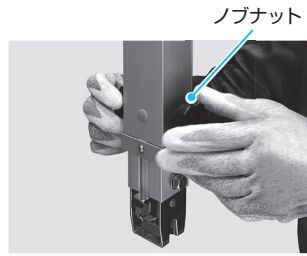
サポート（下）を手で支えながら、ノブボルトを挿し込みます。



⚠️注意

- ノブボルトは、必ずサポート（下）を持って挿し込んでください。サポート（下）を持っていないと、足に落下するなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

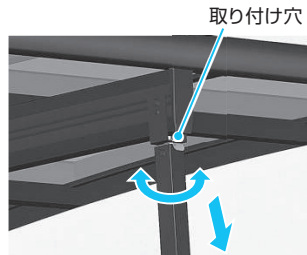
6 ノブナットを付ける



7 サポートを回転させて取りはずす

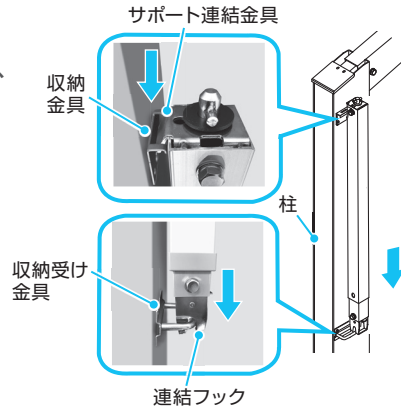
サポートを 90° 回転させて取り付け穴からサポートを取りはずします。

※まわす方向はありません。
90° 回転させるとはずれます。



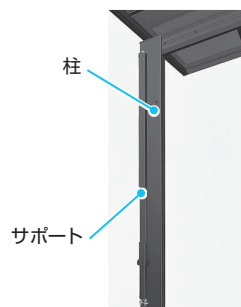
8 サポートを柱に収納する

サポート上部の連結金具を収納金具に、サポート下部の連結フックを収納受け金具に、同時にカチッと音がするまで挿し込みます。

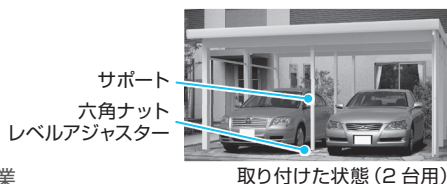


9 サポートがはずれないことを確認する

サポートを軽くゆすって、柱からはずれないことを確認します。



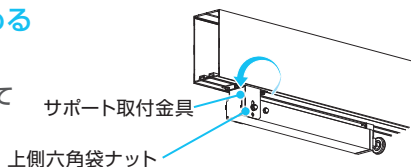
収納式サポートの取り付け方



※高所でスパナやレンチなどの工具を使って行う作業です。慣れない方は、お取り扱いの建築会社、工務店、または当社にご相談ください。

1 上側の六角袋ナットをゆるめる

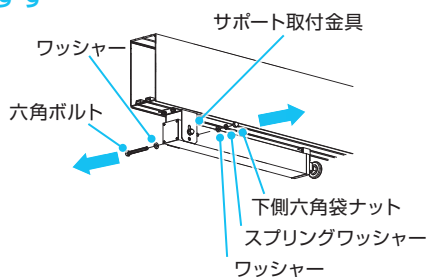
スパナでサポート取付金具の上側の六角袋ナットを反時計回りにまわしてゆるめます。



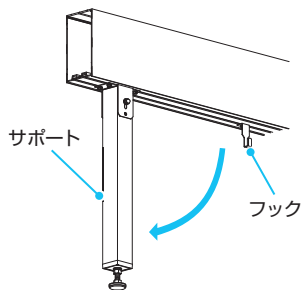
2 下側の六角袋ナットと部品をはずす

スパナでサポート取付金具の下側の六角袋ナットをはずし、六角ボルト、ワッシャー、スプリングワッシャーをはずします。

※ はずした部品をなくさないようにしてください。

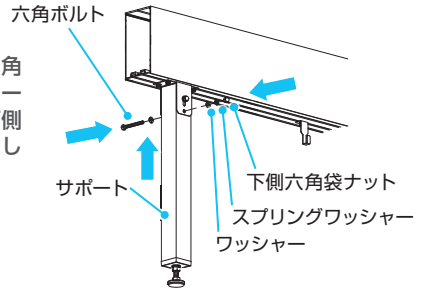


3 サポートをフックからはずしておろす



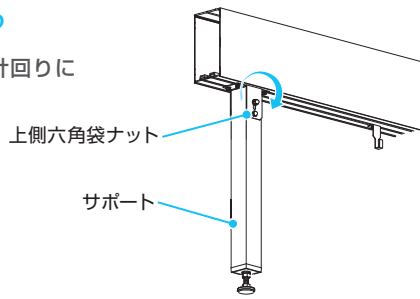
4 はずした部品を元に戻す

サポートを持ち上げながら、はずした六角ボルト、ワッシャー、スプリングワッシャーをサポート取付金具の下側に取り付け、下側の六角袋ナットをスパナで時計回りにまわしてしめます。



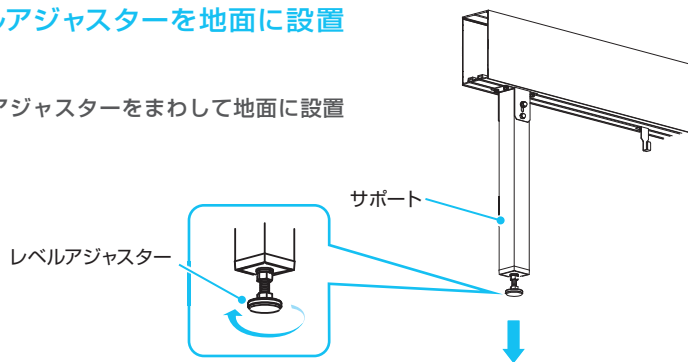
5 上側の六角袋ナットをしめる

スパナで上側の六角袋ナットを時計回りにまわしてしめます。

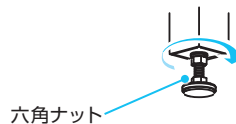


6 レベルアジャスターを地面に設置させる

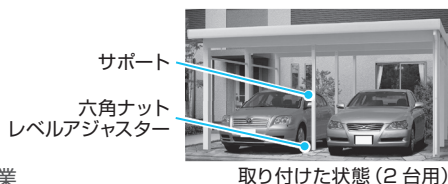
レベルアジャスターをまわして地面に設置します。



7 六角ナットを時計回りにまわしてしめる



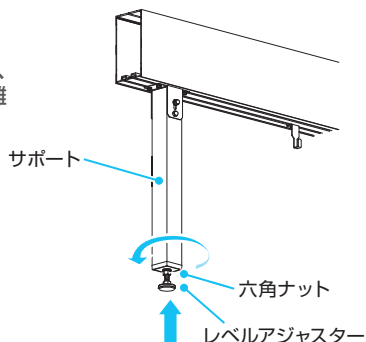
収納式サポートの収納方法



※高所でスパナやレンチなどの工具を使って行う作業です。慣れない方は、お取り扱いの建築会社、工務店、または当社にご相談ください。

1 レベルアジャスターを地面から離す

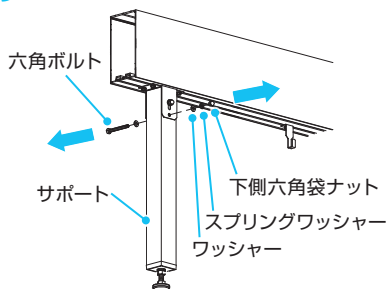
レベルアジャスターの六角ナットをゆるめ、レベルアジャスターをまわして地面から離します。



2 下側の六角袋ナットと部品をはずす

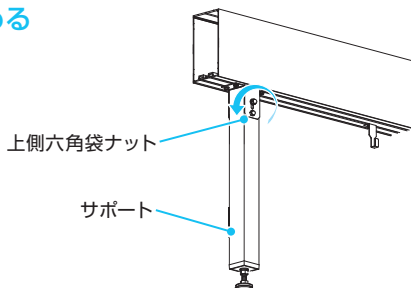
スパナでサポート取付金具の下側の六角袋ナットをはずし、六角ボルト、ワッシャー、スプリングワッシャーをはずします。

※はずした部品をなくさないようにしてください。

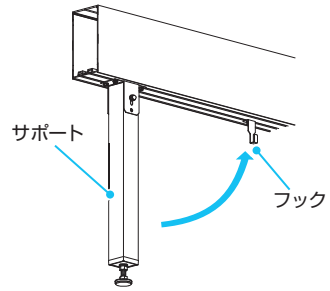


3 上側の六角袋ナットをゆるめる

スパナで上側の六角袋ナットを反時計回りにまわしてゆるめます。

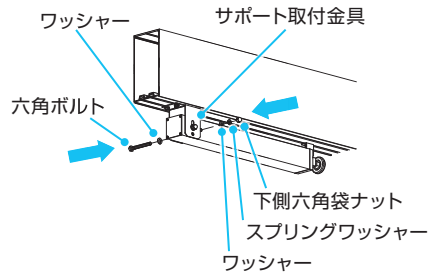


4 サポートをフックにかける



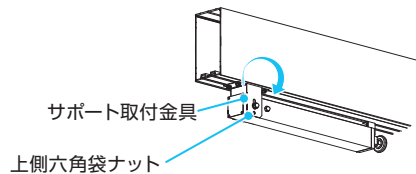
5 はずした部品を元に戻す

はずした六角ボルト、ワッシャー、スプリングワッシャーをサポート取付金具の下側に取り付け、下側の六角袋ナットをスパナで時計回りにまわしてしめます。



6 上側の六角袋ナットをしめる

スパナでサポート取付金具の上側の六角袋ナットを時計回りにまわしてしめます。



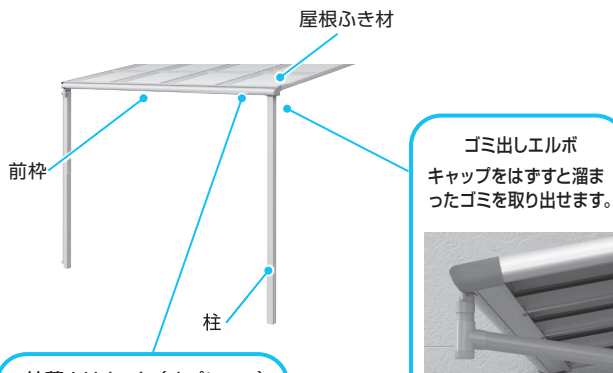
使い方（テラス屋根）

ご使用前に確認してください

●必ず、P.3「安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

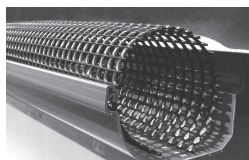
●お手入れ方法については P.32 を参照してください。

■種類・各部の名称



枯葉よけネット（オプション）

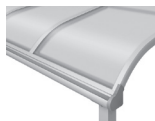
雨どいに枯葉が入るのを防ぎます。
こまめに枯葉を取り除いてください。



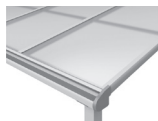
※商品によって取り付けできないものもあります。

●屋根形状の種類

アール型



フラット型



●屋根ふき材の種類

【ポリカーボネート製】

- ・熱線遮断ポリカーボネート
- ・熱線遮断 FRP 板
- ・ポリカーボネート板
- ・ポリカーボネート折板

●その他のオプション

物干し

各種の物干しを選択できます。



→ P.28 「■物干しの種類と制限荷重」

吊り下げ式 上下可動物干し

高さを変えられる物干しです。



→ 商品付属の取扱説明書をご覧ください。

→ P.28 「■物干しの種類と制限荷重」

雪おろしの目安と制限荷重について

■屋根の雪おろしの目安

下表は各商品のラベル表示に対する、雪おろしの目安です。商品のタイプによって耐荷重性能が異なりますので、下表と商品のラベル表示を確認し、雪おろしの目安として参考にしてください。

ラベル表示 (積雪量)	新雪	しまり雪 (雪の重みで硬くしまった雪)	ざらめ雪 (氷つぷのようにざらざらした雪)
	雪比重：0.3 1cm 当たり約 3.0kgf/m ²	雪比重：0.5 1cm 当たり約 5.0kgf/m ²	雪比重：0.7 1cm 当たり約 7.0kgf/m ²
20cm	20cm	12cm	8cm
50cm	50cm	30cm	21cm
100cm	100cm	60cm	42cm

商品にラベルがない、ラベルの文字が見えない場合は、お取り扱いの建築会社、工務店、または当社にお問い合わせください。




■物干しの種類と制限荷重

⚠️ 注意

- 商品の制限荷重をこえるものを干さないでください。
商品の破損や落下など、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 商品の上に乗ったり、ぶらさがったり、商品に無理な力をかけないでください。
商品の破損により、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

🙏 お願い

- 物干しは、必ず物干し竿を使用してください。ロープなどを使用すると無理な荷重がかかり、商品が破損するおそれがあります。
- 物干しの近くを通る時は、ぶつからないようご注意ください。商品の破損につながるおそれがあります。

物干しの種類	水平式物干し	吊り下げ式 上下可動物干し	吊り下げ式 固定物干し
			
制限荷重	片側当たり 25kg	片側当たり 7.5kg (両側で 15kg)	片側当たり 40kg (竿掛け 1か所 10kg以下)

※商品によって取り付けできないものもあります。

お手入れ時の注意事項

商品を長くお使いいただくため、本書に従ってこまめにお手入れを行ってください。
お手入れせずに放置すると、表面に付着した汚れが、しみや腐食の原因となり、他の不具合につながる場合があります。特に海岸地域や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスの影響により、しみや腐食が進みやすくなります。
また、ご自身で調整を行う場合も、本書に従って行ってください。
ご自身で調整しても不具合が改善されない場合は、まずお取り扱いの建築業者、工務店、または当社に修理を依頼してください。

警告



[禁止]

はずしたネジは放置しないでください。
そのままネジを放置すると、小さなお子様が飲み込み、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

お願い

指定されたネジ以外は絶対にはずさないでください。
万一、はずしてしまった場合は、すぐにネジを付けてください。

不安定な台の上などで作業を行わないでください。

【調整する場合】

商品を調整する際は、電動ドライバーを使用しないでください。商品の不具合や破損の原因となります。

【水への配慮】

お手入れの際、窓や引戸にホースや高圧洗浄機などで勢いよく水をかけないでください。
室内側へ水が入るおそれがあります。

【薬品への配慮】

お手入れの際、有機溶剤（シンナー、ベンジン、アセトンなど）を使用しないでください。有機溶剤が付着すると、ひび割れやはがれなどが発生するおそれがあります。

お手入れの際、塩素系薬品（次亜塩素酸ナトリウムを含む漂白剤・カビ取り剤など）やエチルアルコールを使用しないでください。
表面に付着すると変色するおそれがあります。
付着した場合はすみやかに洗い落としてください。



【キズへの配慮】

たわしや金属たわしなどは、絶対に使用しないでください。商品にキズがつくおそれがあります。
布やスポンジに砂などが付着したままふき掃除をしないでください。商品にキズがつくおそれがあります。

アルミ製商品／スチール製商品／樹脂製商品 ／アクリル・ポリカーボネート板（屋根ふき材含む）

お願い

【アルミ製商品・スチール製商品】

表面に汚れがついた場合は、早めに洗い落としてください。
汚れがついたまま放置すると、しみ、腐食、色落ちするおそれがあります。

【樹脂製商品】

ストーブやアイロンなどの熱源を近づけないでください。
熱源を近づけたり、触れたりすると、変形することがあります。

樹脂表面に、殺虫剤などの薬剤を塗布・散布しないでください。
薬剤が付着すると、ひび割れやはがれなどが発生するおそれがあります。

【アクリル・ポリカーボネート板】

商品に有機溶剤を含む、殺虫剤やガラスクリーナーを塗布・散布しないでください。
有機溶剤が付着すると、ひび割れが発生するおそれがあります。

古くなったポリカーボネートの屋根ふき材は、早めに交換してください。
古くなると、強風や積雪、衝撃などで破損するおそれがあります。

ポリカーボネートに油膜が付着した場合は、すみやかに清掃してください。
割れや変形、変色の原因となります。

■通常のお手入れ

1 表面のホコリ・砂を落とす

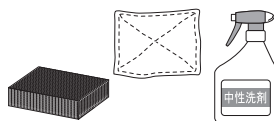
柔らかい布に水を浸し、表面についたホコリ・砂などを洗い落とします。



2 水ぶきする

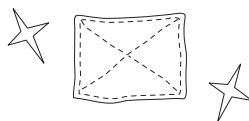
柔らかい布またはスポンジで全体を水ぶきします。

※水ぶきで落ちない場合は、中性洗剤（1～2%の水溶液）で軽く洗い流します。



3 水分をふき取る

乾いた布で、十分に水分をふき取ります。



化粧シート貼り商品（ラミネート）

1

汚れをふき取る

やわらかい布に中性洗剤（1～2%の水溶液）を浸すか、プラスチック消しゴムなどで汚れを軽くふき取ります。



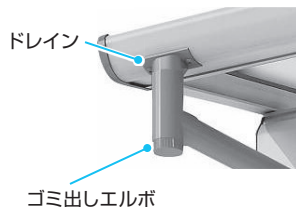
お手入れ

ご使用前に確認してください

- 必ず、P.3「安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

雨どい・ゴミ出しエルボの清掃方法

台風や暴風雨の後や秋の木枯らしが吹いた後など、前枠にゴミや落ち葉などがつまり、雨どいをふさいでしまうことがあります。この状態を放置すると、思わぬところから雨水があふれ屋根下の商品にかかるなどして商品の動きに悪影響を及ぼす場合がありますので、下記の方法で清掃してください。

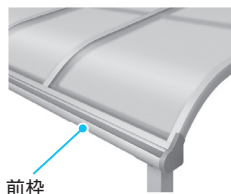


1 前枠の大きなゴミを取り除く

※後枠の場合もあります。



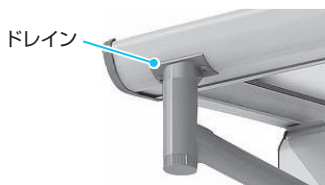
- 前枠の中の落ち葉などを取り除く際は、割り箸などを使用してください。素手で行うと、突起などに手があたり、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



2 ドレインのゴミを取り除く

お願い

- ドレインのゴミは定期的に取り除いてください。ドレインのゴミを取り除かないと、水がたまってドレインからあふれ、雨漏りが発生するおそれがあります。



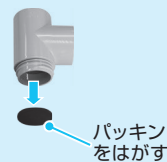
3 ゴミ出しエルボのキャップをはずす

ゴミ出しエルボが付いている場合は、キャップを反時計回りにまわしてはずします。



お願い

- ゴミ出しエルボにパッキンが貼り付いている場合ははがしてください。
- キャップや貼りついたパッキンをはずす際、水やゴミが落ちる可能性がありますので、ご注意ください。



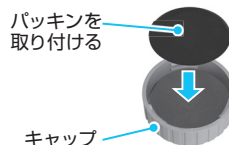
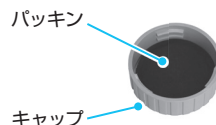
4 ゴミ出しエルボを清掃する

ゴミ出しエルボ内のゴミを取り除き、キャップやパッキンの汚れを落とします。

5 全体を水で洗い流す

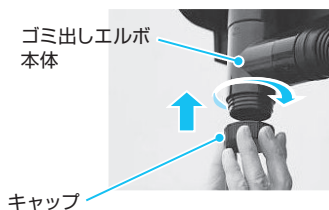
6 キャップの内側にパッキンが取り付けられていることを確認する

※キャップからパッキンがはずれている場合は、キャップの内側に取り付けてください。



7 ゴミ出しエルボ本体にキャップを取り付ける

ゴミ出しエルボ本体にキャップを時計回りにまわして取り付けます。



屋根ふき材の清掃方法

お願い

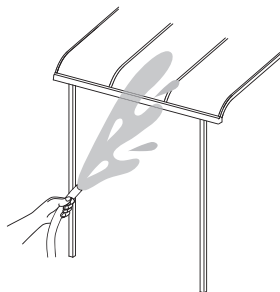
- 中性洗剤は、0.5%程度に薄めて使用してください。
中性洗剤を高濃度そのまま使用すると、ひび割れが発生するおそれがあります。

1 表面のホコリ・砂を落とす

水洗いまたは水に浸した柔らかい布で、表面についたホコリ、砂などを洗い落とします。

お願い

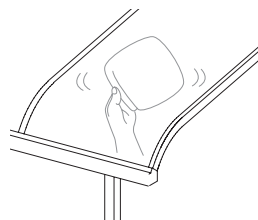
- 高圧洗浄機を使って清掃しないでください。シーリングがはがれるなどにより、雨漏りの原因となるおそれがあります。



2 水ぶきする

水に浸した柔らかい布で軽く拭き取ってください。

※水ぶきで落ちない場合は、中性洗剤（0.5%の水溶液）で軽く洗い流します。

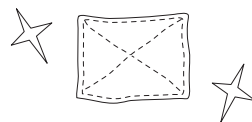


3 水分をふき取る

乾いた柔らかい布で、十分に水分を拭き取ります。

お願い

- ポリカーボネート板は、キズがつきやすいためお手入れ際はご注意ください。



困った時には

屋根ふき材・雨とい

現象・兆候	考えられる原因	対処方法	参照先
雨どい部分から雨水があふれている。	ゴミ、落ち葉などの異物による雨どいのつまり。	清掃してください。	P.32
屋根ふき材が不透明化している。	屋根ふき材の経年劣化。または、有機溶剤を含むガラスクリーナー、殺虫剤の使用、建物の外塀塗装などによる劣化の促進。	お取り扱いの建築会社、工務店、または当社に修理依頼をしてください。	
屋根ふき材がひび割れている。			
屋根ふき材が割れている。	積雪時の電線や木枝に付着した氷雪の落下。		
	強風時の飛来物。		
屋根ふき材がばたついている。	屋根ふき材押さえの取り付け不良、ネジのゆるみ。		
	タイト材の劣化（寿命による硬化、ひび割れ、断裂など）		
屋根ふき材がはずれた。	商品の性能を超える積雪や強風など。		
雨漏りしている。	シーリングの不備や劣化など。		
	地盤の不等沈下などによる、接合部のずれ。		
	屋根ふき材取り付け部、タイト材の経年劣化。		
屋根ふき材（アルミ）が変形している。	飛来物などによって変形した		

アルミ製商品の腐食

現象・兆候	考えられる原因	対処方法	参照先
アルミ商品表面などにつぶ状の汚れがついている。	商品にゴミなどがついている。	清掃をしてください。	P.30
	ハウスクリーニング時に中性洗剤以外の洗剤により洗浄が行われた、またはその洗剤がついて商品が腐食した。	お取り扱いの建築会社、工務店、または当社に修理依頼をしてください。	
	交通量の多い道路沿いのため排気ガスにより商品が腐食した。		
	ガス給湯器の排気ガスにより商品が腐食した。		
	海岸地帯のため、空気中に含まれる塩分がついて商品が腐食した。		
	工業地帯のため、大気中に含まれる腐食を誘発する成分がついて商品が腐食した。		

保守点検項目

長期間、商品を使用していると、いろいろな不具合が発生します。

そのまま使い続けると、人身事故や家財の損害などの原因になるため、お掃除の際など、日常的に保守点検を行ってください。

下記は、点検していただきたい項目です。

点検項目	点検箇所	参照先
ネジ・ボルトなどがゆるんでいないか？ 腐食していないか？	ネジ・ボルト部分	
部品（コーナーキャップなど）がはずれていないか？	部品	
商品に異常がないか？ （雪が降る前に点検）	商品全般	P.12「カーポート・サイクルポート」 P.26「テラス屋根」
屋根ふき材がはずれていないか？	屋根ふき材	
柱にグラツキがないか？ 金具やボルトのゆるみ・腐食がないか？ 屋根材に破損や垂れ下がりはないか？	屋根ふき材	
商品に付いている端部キャップがはずれていないか？	各部の端部キャップ	

※点検で不具合が見つかり、参照先を確認しても問題が解決しない場合は、お取り扱いの建築会社、工務店、または当社にお問い合わせください。

商品の保証について

商品保証とは当社の商品に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に故障、損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、まずお取り扱いの建築会社、工務店、または当社に修理をご依頼ください。

●対象商品

一般住宅エクステリア建材商品

●保証期間

建築会社よりの引き渡し日〈注〉から起算して2年間（電装部品については1年間）。

ただし、施工を伴わない商品については、お客様がご購入された日から1年間。

〈注〉引き渡し日とは、新築注文住宅の場合はお客様への住宅引き渡し日とし、新築分譲住宅の場合は建築主様への住宅引き渡し日とします。新築以外の住宅については、商品の施工完了日とします。

保証期間経過後の修理、交換などは有料といたします。

●保証内容

取扱説明書、本体ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する“免責事項”を除き無料修理いたします。

なお、強風雨時にサッシ下枠に雨水がたまるありますが、これは商品上の特性であり不具合ではありません。

不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠をこえて室内に雨水が流れ出たり、あふれ出したりすることです。

※お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合はお取り扱いの建築会社、工務店、または当社にお問い合わせください。

※この商品保証は日本国内においてのみ適用されるものとし、日本国外に納品される商品については適用しないものとします。

修理依頼のご連絡にあたっては、次のことをお知らせください。

- (1) 商品名
- (2) 商品記号（商品に貼付している社名ラベルでご確認ください。）
- (3) お引き渡し日（お引き渡し日が不明の場合は、竣工日またはご入居日）
- (4) 工務店、建築会社名など
- (5) 破損箇所や不具合状態

●免責事項

保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。

- (1) 当社の手配によらない第三者の加工、組立て、施工（基礎工事、取付工事、シーリング工事など）、管理、メンテナンスなどに起因する不具合（例：海砂や急結材を使用したモルタルによる腐食。中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる腐食。工事中の養生不良に起因する変色や腐食など）
- (2) 表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合
- (3) 建築躯体の変形など商品以外に起因する商品の不具合
- (4) 商品または部品の経年変化（使用に伴う消耗、摩耗など）や経年劣化（樹脂部分の変質、変色など）またはこれらに伴うさび、かびなどその他の不具合
- (5) 商品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食またはその他の不具合（例：塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。異常な高温、低温、多湿による不具合など）
- (6) 商品または部品の材料特性に伴う現象（例：木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、節抜け、樹液のにじみ出しなど）
- (7) 天災その他の不可抗力またはこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合（例：暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災、津波、噴火など）

- (8) 通常の生活条件下では予測することが不可能な現象、商品発売時点で実用化されている技術では予測することが不可能な現象、またはこれが原因で生じた不具合
- (9) 小動物や虫などの害による不具合（例：犬、猫、鳥、ねずみなどの小動物またはつるや根などの植物に起因する不具合、虫害など）
- (10) 引き渡し後の操作誤り、調整不備または適切な維持管理を行わなかったことによる不具合（例：日常のお手入れを行わないこと等により発生する不具合）
- (11) お客様自身の組立て、取付、修理、改造（必要部品の取外しを含む）に起因する不具合
- (12) 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合または使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
- (13) 犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

●補修用部品の供給期間について

商品の機能を維持するために必要な補修用部品の最低供給期間は、当社における商品販売終了後10年間です。ただし、商品販売終了後10年に満たない場合でも補修用部品の供給が難しい場合は代替の商品を供給させていただくこともありますのでご了承ください。

※補修用部品には、商品の機能維持には問題のない範囲で色やデザインが異なる部品も含まれます。補修用部品に関してご不明の点がございましたらお取り扱いの建築会社、工務店、または当社にお問い合わせください。

〈メモ〉

A series of 25 horizontal dotted lines for writing.

保証書

保証期間	商品の施工完了日から起算して2年間
商品名	
商品記号	
施工完了日	年 月 日
販売店名	

長期間、商品をご使用になりますと、不具合が発生することがあります。そのままにしておきますと人身事故や家財の損害などの原因となります。対処方法が本説明書に掲載されていない不具合が発生した場合は、ご自分で修理せず、まずお取り扱いの建築会社、工務店、または当社にご相談ください。

■修理依頼のご連絡にあたっては、次のことをご知らせください。

- お客様のお名前
- お客様のご住所
- お客様のお電話番号
- 商品名
- 商品記号
- 施工完了日
- 破損箇所や不具合状態

メモ